



# 「ひまわりのたね」だより

【問合先】子育て支援課 子育て支援係 ☎65・0081



梅野よしみ 保育士

## ■絵本大好き

秋の空になりました。ゆるやかな雲を見てみると、久しぶりに開催できた夏祭りや、プールあそびで子どもたちの見せた笑顔が浮かんできます。

ひまわりのたねでは、絵本「もいもい」が大好評！毎回、ハイハイで「もいもい」を持って来る子のお母さんは「この本、何回も読まれます。」と言いながらもうれしそう。「もいもい」は3ヶ月の赤ちゃんも笑顔にします。

1歳半の子は、本立てから「ちびゴリラのちびちび」を抱えてお母さんに渡し、指定席のひざに座りました。「ほんと、この本好きね」といながら優しい声で読んでもらっていました。

絵本で母と子が繋がっていいなと眺めています。絵本を読んでいる時いつも集中するとは限りませんが、子どもが喜んでるのが伝わっていると読み応えを感じます。

昔、おやつを食べている我が子に「いっちょくだけはり仲間になろう」と手を出すと「仲間になるならやろうたい」と返した時は、さるかに合戦の掛け合いを覚えていたのだとうれしくなりました。

また、小さい頃より絵本をよく読

んでもらっていた兄弟が大人になって、弟が「かこさとし展」に行ったと話すと、兄は、自分も行きたかったと「カラスのパン屋」の一節を唱えたそうです。

絵本を読んでもらった子は、その楽しさを知っているから、親になった時に我が子にも読んであげることができるよう。

絵本にまつわるエピソードを思い返したり、子どもたちが好きな絵本と出会えたらいいなと等と考えていると、秋の夜長もすぐに更けていきます。



「もいもい」  
市原 淳／作  
開 一夫／監修  
ディスカヴァー・  
トゥエンティワン／出版

**子育て支援センター  
「ひまわりのたね」**

【開館】月～金曜日 9～16時  
【場所】総合福祉センター  
「ひまわりの里」内  
【対象】0歳から未就学の子  
もとその保護者  
※利用には保護者の付き添い  
が必要です  
【利用料】無料